

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 運営推進会議 自己評価 開催日 令和7年5月21日(水) 15:00-16:00 参加者: 家族 2名 国泰寺地域包括 担当者 職員 2名

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に一回、法人内で作成した「もちもちの木」テキストを使用して複数で読み合わせをしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会に入り地域の情報収集に取り組んでいる。亥の子まつりに参加した。地域のスーパーに買い物に出かけ地域の一員としてつながりをもてた。認知症カフェの開催し介護情報の共有と相談対応した。	100歳体操など、地域の人が集まれる場所としての提供も検討してみても意見をいただいた。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の状況、事故報告を行い参加者に頂いた意見を受け改善に努めている。	今後も継続していくこと		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種の手続きや確認事項等で連絡を取っている。理事長・ケアマネは、地域包括ケア課との連携を図り認知症ケアの実践を伝え介護事業に貢献している。	今後も継続していくこと		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「身体拘束の排除理念及び方針」を掲げると共に身体拘束適正化委員会(年4回)研修会(年一回)を開催し、身体拘束について理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンライン研修など活用して取り組まれていた
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待について研修を年二回設けている。また、日々のケアで不適切なケアがないか身体拘束適正化委員会が開催される時に確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	学ぶ機会を持っていた
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年一回の研修受講を促している。また、入居者2名が成年後見制度を利用しており、実践で学んでいる。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重要事項により説明を行い、内容を分かりやすく説明し、質疑応答を受け納得の上で契約を締結するように努めている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者とは日々の関わりで伝えられる方も伝えられない方も思いをくみ取るように努め家族からの希望や意見はサイボウズシステムを活用し全体で共有している。年に一回アンケート調査を実施している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の参加者より要望が伝わる環境であることを確認できた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	申し送りやミーティング・ケアカンファレンス・運営会議・個人面談等意見や提案を聞く機会が設けられている。また、運営会議を経て意見や提案が反映されている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護技術評価を自己評価・ペア評価を経てアセッサーがさらに評価している。また、年に1回個人目標の確認し個々の努力や実績の把握に努め目標の振り返りの面談を2回設けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護技術評価の基準を設定していることを確認した。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年度で研修計画を作成、スタッフのスキルアップに努めている。また、アセッサーが職員一人一人のケアの実際と力量を把握している。認知症実践研修について機会を確保また、促進している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月間で法人内の研修開催を計画され実践している
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症カフェの開催時、同業者や専門職との交流し情報共有することでサービスの質の向上を目指している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者には一人ひとりの能力に応じて出来ていることを分析し、暮らしの中で必要な家事や役割を担っている			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間制限なく家族、友人、親族との面会を実施した。自宅にいたころの地域活動を継続して参加され交流が続いている。	これからも家族交流ができるよう継続していくこと		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、利用されていたサービス事業者などから情報提供して頂いている。ご家族には生活歴などお聞きし本人のそれまでの暮らし方や好み、生活リズムを把握するため、情報収集し本人、家族の意向を汲んだケアプランを作成している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス内容について検討する会議を月一回開催し、多職種でモニタリングを行いケアプランの継続または変更を判断している	継続していくこと	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録でやり取りや保管している
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	Nシステムケアに入力して職員間でタイムリーに情報共有出来ている その記録を元に介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報システムを活用して記録の共有をしている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族がいない方や家族の方が高齢の場合、入院時に必要なサポートは適宜、適切な外部サービスの利用や職員のサポート等で対応している	大切な役割だと思う		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	100歳体操に参加予定だったが人員不足や入居者の重度化が進み参加できていない。タクティールケアのボランティアに月に一回訪問していただいた。	11月の猪子まつりでは、子どもと触れ合う時間を設ける予定にしている 引き続き、情報提供をすること		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>通い慣れた病院受診や訪問診療、歯科往診など可能な限り適切な医療が受けられるように支援している</p> <p>必要に応じて専門家医へもつないでいる</p>			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>アセスメントシートの提出、日々の体調や認知症状など報告している。また、病状について疑問があれば相談している。</p> <p>入院時には、生活状況の情報を提供し、入院計画に応じた支援に努めている</p> <p>退院前には、事前に ADL や病状予後についての情報が入手できるよう連絡調整を図っている</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	書類の作成をしている ケアマネジャー、管理者が連携を図っている
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>契約時に「重度化した場合における対応に関わる指針」を説明し意向を確認している。病状の変化や段階に応じて都度本人・家族の意向を確認しながら終末期には改めて話し合い医師・看護師・家族・職員グループホームで出来る支援をしている。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に説明している
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>年に一度、法人内の研修で学んでいる。急変時の対応、事故発生時の対応について話し合い、チャートを作成している。</p> <p>また、24時間オンコールの看護師や主治医から指示を受けて実践している。</p>			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>消防訓練、避難訓練を年に2回必須訓練を実施している。災害時等の備蓄は、入居者9人と職員1人が災害時に要する水、食材備品を常時蓄え管理している</p>	継続すること	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訓練を実施している

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉遣いをはじめ、人生の先輩として常に敬う気持ちを忘れないようにしている。認知症であっても本人のプライバシーが守られるように入室時にはノックをするように努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーが保たれるよう努力している
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時間、就寝時間、食事について本人の体調や希望に沿うようにしている。朝食は決まった時間ではなくそれぞれが起きた時間に合わせてとって頂いている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が手作りの日に好みのものを作ったり食器洗いや盛り付けをしたり利用者と職員と一緒にしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理員と共に料理の手伝いをしたり食事を楽める工夫をしている
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの体調に合わせて、必要な水分量をケアプランにしている。食事量や食事形態も病気、口腔状態、好みに合わせ工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを実施している本人の拒否や失行・失認で行えないことがあるため必要に応じて訪問歯科の診療を提案して口腔ケアに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、の口腔ケアを実施している
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンのデータをとリタイミングや姿勢、運動マッサージ、食事の工夫等個別の対応を行い便秘予防の実践をしている。また、主治医や看護師と連携して、薬を使用して便秘改善に取り組んでいる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	便秘予防に取り組まれ改善された事例があった
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には、週間サービスで週2-3回の計画を立てているが本人の気分や体調により変更も対応している。シャワーチェアや			

				浴槽内のリフトの設備があり、重度介護になっても入浴可能			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	眠れない方にホットミルクの提供し、お腹が減ってリビングに出てこられた方におやつを提供している。リクライニングチェアで休息が取れるようにしている。個室では寂しい方には、眠くなるまで食堂でスタッフが寄り添っている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬局の居宅療養管理指導を受け薬の管理及び適切な服用、使用ができるように連携している処方内容が分かるようにお薬情報を共有している		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬局と連携して管理している
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の趣味や要望を尊重し、自尊心を傷つけないように能力に応じた役割や楽しみを継続して行えるように工夫している。	継続していくこと		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	買い物や散歩の支援に取り組んだ。またご家族と外出、外食が自由に過ごせるよう制限なく対応した。車に乗り桜を見に行ったり、フラワーフェスティバルに参加したり普段いけない場所に出向いた。	外出支援については、支援方法を家族も巻き込み実施するよう試みる		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望があれば、家族・後見人に同意を得て所持できるように支援していく小遣い程度は職員が預かり援助している(菓子、化粧品、下着程度の購入)			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望に応じるようにしている手紙や年賀状を出したりオンライン面会も予約いただければ可能とした			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	廊下に手すりを設置して一人で歩けるようにしている。利用者間トラブルの内容に席の配置を状況によって変更している。壁に絵など季節ごとに張り替えている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居心地よく過ごせるよう工夫している
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	サービス内容を検討する際、本人の思いを確認している。思いを表出できない方には、クローズクエスチョンで聞き出しできるだけ意向に沿うようにしている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前の生活環境や交友関係等情報収集して、ケアや支援を提供するように努めている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護職が日々のバイタルチェック、日常生活動作などの変化を察知し、医療職との連携を図り適切なケアができるように努めている		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医療と密に連携している
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	集団生活のため、全く自分のペースではないができるだけお互いが理解し合えるように介護職が仲介している			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に持ち込み可能としている。化粧水など馴染みのあるものを購入している		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	なじみのものを持ち込んでいることを確認した
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域のお祭りや初詣などイベントに参加した。	可能な限り、催事に参加して地域と交流をもつこと		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分自身では行えなくなっても介護職が見極めできそうなことを拾い上げたり難しかったことはそっと手伝ったりしている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の性格や特性を生かして楽しく過ごせるような席に案内し好みの役割が果たせるよう活動を提供している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動ができるように席の配置など工夫している
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のお祭りに参加することができた。近隣住人のボランティアさんに週に一回軽度のケアサポートをしていただいた。	継続していくこと		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「優しい心」を理念に常に温かい職員に見守られ安心安全に過ごすことができている。また、近隣の訪問看護ステーションと24時間連携できるようにサポート体制を確保し体調管理に努めている。	工夫して取り組まれている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域とのかかわりに課題があるがほぼできている